



クラシック界に衝撃と旋風を巻き起こす新進気鋭の天才指揮者クラウス・マケラ。
25歳の若さで音楽監督に就任した 待望の来日!
名門パリ管と勝負曲を携えて

10/18のサントリー公演では世界中で人気抜群のピアニスト、アリス=紗良・オットを迎えての瑞々しいラヴェルも必聴!

クラウス・マケラ指揮 パリ管弦楽団

アリス=紗良・オット (ピアノ 10/18出演)

照明演出: 佐藤 啓

©Marco Borggreve



©Pascal Albandoulos



©William Beaucardet

ドビュッシー 交響詩《海》 パリ管の魅力全開の最強プログラム!

ラヴェル **ボレロ**

ストラヴィンスキー **春の祭典**

2022 **10/15** (土) 16:00 開演 (15:15 開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

2022 **10/17** (月) 19:00 開演 (18:15 開場)

サントリーホール

ドビュッシー 交響詩《海》

ラヴェル **ピアノ協奏曲ト長調**

アリス=紗良・オット (ピアノ)

ストラヴィンスキー **火の鳥** (全曲)

2022 **10/18** (火) 19:00 開演 (18:15 開場)

サントリーホール

2022年 **8月7日(日)**
チケット発売

料金 (全席指定/税込) **S席 32,000円/A席 28,000円/B席 24,000円/C席 19,000円/D席 15,000円**
※諸般の事情によりチケット価格が変更となりました。ご了承ください。

ご予約・お問い合わせ チケットスペース **03-3234-9999** [チケットスペースオンライン](#) [検索](#)

フ
レ
イ
ガ
イ
ド

ぴあ、ローソンチケット、イープラスではWEBのみで販売(電話・店頭販売無し)
■チケットぴあ <https://pia.jp/> ■ローソンチケット <https://l-tike.com/> ■イープラス <https://eplus.jp/>
各ホールでは開催公演のみ取扱
■東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 <https://www.geigeki.jp/t/>
■サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>

※チケットはお1人様各公演6枚までとさせていただきます。※未就学児のご入場はお断りいたします。※出演者・曲目・曲順等は変更になる場合がございます。※車椅子でご来場されるお客様はご購入前にチケットスペースまで必ずお問い合わせください。※新型コロナウイルス感染症対策の最新情報・ご来場のお客様へのお願いはチケットスペースHP(<https://www.ints.co.jp/>)をご確認ください。
※本公演はマスクを着用されていない方のご入場はお断りいたします。



マケラはストラヴィンスキーの
幻想的なスコアを完璧に把握していた。
細部にまで気を配った演奏でありながら、
力強く脈打つような勢いのある演奏だった。
[シカゴ・クラシカル・レビュー 2022年4月]

ドビュッシー《海》のこれほど明瞭で
雰囲気のある名演はそうそう聴けるものではない。
ひとつひとつの音を新鮮に想像することに
喜びを感じる、本当に特別な指揮者がここにいた。
[ザ・タイムズ 2021年11月]

SEKISUI HEIM presents

クラウス・マケラ指揮 パリ管弦楽団 日本ツアー2022

- 10月15日(土) 東京芸術劇場 コンサートホール
- 17日(月) サントリーホール(東京)
- 18日(火) サントリーホール(東京)
- 20日(木) 愛知県芸術劇場 コンサートホール
- 21日(金) 岡山シンフォニーホール
- 23日(日) フェスティバルホール(大阪)



©Banguigui Pasco and Orchestre de Paris



KLAUS
MÄKELÄ

指揮: クラウス・マケラ

1996年フィンランド生まれ。12歳からシベリウス・アカデミーにてチェロと指揮を学ぶ。若くしてスウェーデン放送交響楽団の首席客演指揮者に就任したほか、これまでにフィンランド放送響、ヘルシンキ・フィル、ライブツィヒ放送響など、欧米の一流オーケストラと共演し、いずれも高い評価を得て「数十年に一度の天才指揮者の登場」とも評される大成功を収める。2020年、24歳の若さでノルウェーのオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任、北欧を代表するオーケストラが24歳の指揮者をシェフに選んだことはクラシック界で大きな話題を集めたが、そのポストに加え、翌2021年のシーズンからは、数多くの名指揮者の薫陶を受けた名門パリ管弦楽団の音楽監督にも就任。指揮者としてはほぼ前例がない弱冠20代前半での一流オーケストラからの高評価と重要ポストのオファーに世界中の音楽ファンから驚嘆と賞賛の声があがっている。



ORCHESTRE DE PARIS

パリ管弦楽団

©William Beaucardet

1967年、名門パリ音楽院管弦楽団(1828年創設)の発展的解消で誕生したフランスが世界に誇るオーケストラ。初代音楽監督にシャルル・ミュンシュが就任したものの急逝、その後、ヘルベルト・フォン・カラヤン、ゲオルク・ショルティ、ダニエル・バレンボイム、セミヨン・ビシュコフ、クリストフ・フォン・ドホナーニ、クリストフ・エッセンバッハ、パーヴォ・ヤルヴィ、ダニエル・ハーディングと名だたる世界的な名指揮者が音楽監督の座に就き数多くの名演、名盤を残している。2021/22年のシーズンからは第10代の音楽監督として弱冠25歳のフィンランド人指揮者クラウス・マケラが就任。名門オーケストラと新進気鋭の指揮者の圧倒的な演奏には、パリの聴衆はもとよりネット配信を通じて世界中のクラシック・ファンからの最上級の賞賛を獲得し、今、世界でもっとも注目を集める指揮者とオーケストラのひとつとなっている。



10/18出演

ALICE
SARA OTT

ピアノ: アリス=紗良・オット

クラシック音楽界で最もクリエイティブなアーティストのひとりとして世界中で高い人気を誇る。これまでに、パーヴォ・ヤルヴィ、アントニオ・パッパーノ、ジャンドレ・ア・ノセダ、ユーリ・テミルカーノフ、ウラディーミル・アシュケナージ、サカリ・オラモ、オスモ・ヴァンスカ、チョン・ミョンフン、グスターボ・ドゥダメル等、世界の名指揮者と共演し、ベルリン・フィル、シカゴ響、ロサンゼルス・フィル、ロンドン響といった世界の一流オーケストラとの共演も数多い。また、アルバムも積極的にリリースしており、これまでにリリースしたアルバムの総ストリーミング数は1億5千万回を超えている。ドイツ・グラモフォンからの10枚目のアルバムとなる意欲的な最新アルバム『エコーズ・オヴ・ライフ』と同名のツアーは大きな話題を集めている。



ひとつの終わりは、次の始まり。
響き合い、こだまする。人生を繋ぐプレリュード
ECHOES OF LIFE エコーズ・オヴ・ライフ
アリス=紗良・オット

フレデリック・ショパン: 24の前奏曲
トリストアーノ: イン・ザ・ビギニング・ワズ
リゲティ: ムジカ・リチエルカータ第1曲
ロータ: フルツ/ゴンザレス: 前奏曲
武満徹: リタニ 第1曲/ベルト: アリーナのために
オット: ララバイ・トゥ・エターニティ
アリス=紗良・オット(ピアノ)



フィンランド期待のマケラ、
Deccaデビュー盤!
シベリウス: 交響曲全集
クラウス・マケラ

[CD1] 交響曲第1番 / 交響曲第2番
[CD2] 交響曲第3番 / 交響曲第4番
[CD3] 交響曲第5番 / 交響曲第6番
[CD4] 交響曲第7番 /
交響詩《タピオラ》 / 3つのフラグメント
クラウス・マケラ指揮オスロ・フィルハーモニー管弦楽団
録音: 2021年2月-6月

直輸入盤 485-2256(直輸入盤/オープン価格)

通常盤 SHM-CD: UCCG-1885 ¥3,080(本体¥2,800 税率10%)

初回限定盤 MQA-UHQCD: UCCG-40130 ¥3,850(本体¥3,500)

Bonus DVD付/特製スリーブケース付 *MQA88.2kHz/24bit

ボーナスDVD:
ミュージック・ビデオ2曲/ショート・クリップ2曲/フォト・ギャラリー

発売・販売元: ユニバーサル ミュージック

<http://www.universal-music.co.jp/classics/>

ユニバーサル ミュージック ストアから商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く)

<http://smarturl.it/um-classics>

ニュースレター会員募集中! 無料で最新情報を! <https://lp.universal-music.co.jp/newsletter/>

Access Here ▶

